

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	23,778	14,257
有価証券	145,349	159,402
有形固定資産	2,407	1,761
無形固定資産	6,196	8,360
その他資産	17,149	16,617
繰延税金資産	9,480	10,086
資産の部合計	204,362	210,487
負債の部		
保険契約準備金	156,612	165,670
支払備金	39,535	40,915
責任準備金	117,077	124,755
その他負債	11,553	6,857
未払法人税等	2,363	881
その他の負債	9,190	5,976
退職給付引当金	1,667	1,802
賞与引当金	1,132	572
特別法上の準備金	206	230
価格変動準備金	206	230
負債の部合計	171,173	175,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	7,872	10,740
株主資本合計	31,261	34,129
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,927	1,224
評価・換算差額等合計	1,927	1,224
純資産の部合計	33,189	35,354
負債及び純資産の部合計	204,362	210,487

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	(自	平成29年4月1日	(自	平成30年4月1日
	至	平成29年12月31日)	至	平成30年12月31日)
経常収益		82,422		86,296
保険引受収益		81,062		84,748
(うち正味収入保険料)		81,016		84,699
(うち積立保険料等運用益)		46		48
資産運用収益		1,330		1,503
(うち利息及び配当金収入)		1,001		1,025
(うち有価証券売却益)		375		526
(うち積立保険料等運用益振替)	△	46	△	48
その他経常収益		28		44
経常費用		77,383		78,902
保険引受費用		56,740		58,410
(うち正味支払保険金)		38,534		42,031
(うち損害調査費)		5,574		6,025
(うち諸手数料及び集金費)		1,340		1,295
(うち支払備金繰入額)		2,524		1,380
(うち責任準備金繰入額)		8,767		7,677
資産運用費用		-		0
(うち有価証券売却損)		-		0
営業費及び一般管理費		20,641		20,490
その他経常費用		1		1
経常利益		5,039		7,394
特別利益		-		-
特別損失		23		28
固定資産処分損		1		4
特別法上の準備金繰入額		21		23
価格変動準備金繰入額		21		23
税引前四半期純利益		5,015		7,365
法人税及び住民税		2,306		2,417
法人税等調整額	△	950	△	332
法人税等合計		1,355		2,085
四半期純利益		3,659		5,279

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		80,043	83,924	3,880	4.8 %
(元受正味保険料)		(80,043)	(83,924)	(3,880)	(4.8)
経	保険引受収益	81,062	84,748	3,685	4.5
	(うち正味収入保険料)	(81,016)	(84,699)	(3,682)	(4.5)
	保険引受費用	56,740	58,410	1,669	2.9
	(うち正味支払保険金)	(38,534)	(42,031)	(3,496)	(9.1)
	(うち損害調査費)	(5,574)	(6,025)	(451)	(8.1)
常	(うち諸手数料及び集金費)	(1,340)	(1,295)	(△45)	(△3.4)
	資産運用収益	1,330	1,503	172	13.0
	(うち利息及び配当金収入)	(1,001)	(1,025)	(23)	(2.4)
	(うち有価証券売却益)	(375)	(526)	(151)	(40.4)
	資産運用費用	-	0	0	-
損	(うち有価証券売却損)	(-)	(0)	(0)	(-)
	営業費及び一般管理費	20,641	20,490	△150	△0.7
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(20,594)	(20,435)	(△158)	(△0.8)
	その他経常損益	27	42	15	57.4
	経常利益	5,039	7,394	2,354	46.7
益	(保険引受利益)	(3,727)	(5,902)	(2,174)	(58.3)
	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	23	28	5	22.7
特 別 損 益	特別損益	△23	△28	△5	-
	税引前四半期純利益	5,015	7,365	2,349	46.8
	法人税及び住民税	2,306	2,417	111	4.8
法人税等調整額	△950	△332	618	-	
法人税等合計	1,355	2,085	729	53.8	
四半期純利益	3,659	5,279	1,620	44.3	
諸 比 率	正味損害率	54.4%	56.7%	/	/
	正味事業費率	27.1%	25.7%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などです。

2. 諸比率は次の算式によっております。

正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100

正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		148	0.2	△ 12.7	244	0.3	64.5
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		6,515	8.1	△ 1.0	6,576	7.8	0.9
自 動 車		73,379	91.7	10.2	77,103	91.9	5.1
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		80,043	100.0	9.2	83,924	100.0	4.8

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		11	0.0	△ 36.6	68	0.1	502.5
海 上		0	0.0	—	△ 0	△ 0.0	△ 100.0
傷 害		6,671	8.2	△ 2.0	6,653	7.9	△ 0.3
自 動 車		73,200	90.4	10.3	76,865	90.8	5.0
自動車損害賠償責任		1,132	1.4	5.3	1,110	1.3	△ 1.9
合 計		81,016	100.0	9.1	84,699	100.0	4.5

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
火 災		5	△ 4.7	267.4	11	102.0	59.5
海 上		2	—	322.4	10	273.5	—
傷 害		2,029	5.7	33.5	2,218	9.3	37.1
自 動 車		35,501	4.3	55.8	38,760	9.2	57.9
自動車損害賠償責任		995	0.4	88.0	1,030	3.5	92.8
合 計		38,534	4.3	54.4	42,031	9.1	56.7

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	54,244	63,415
資本金又は基金等	28,849	34,129
価格変動準備金	206	230
危険準備金	109	116
異常危険準備金	20,970	23,656
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,409	1,530
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	1,698	3,751
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	13,871	14,534
一般保険リスク (R ₁)	12,395	13,029
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	-	-
予定利率リスク (R ₃)	114	121
資産運用リスク (R ₄)	1,712	1,842
経営管理リスク (R ₅)	305	320
巨大災害リスク (R ₆)	1,036	1,037
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	782.1%	872.5%

注。「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。
 なお、当第3四半期会計期間(平成30年12月31日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を当中間会計期間(平成30年9月30日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）
 （一般保険リスク）
 （第三分野保険の保険リスク）
 - ②予定利率上の危険：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 （予定利率リスク）
 - ③資産運用上の危険：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 （資産運用リスク）
 - ④経営管理上の危険：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 （経営管理リスク）
 - ⑤巨大災害に係る危険：通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
 （巨大災害リスク）
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。